

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
24	東京純心大学	家族看護学	時田 純子 看護学部 講師	1	前期	木	8	16:20～17:50	東京純心大学	5

#### 【到達目標】

1. 家族の概念を理解し、家族・家族看護の定義や目的を説明できる。
2. 家族看護学における基礎理論について説明できる。
3. ジェノグラム、エコマップの作成を通して、家族アセスメントモデルに基づいた家族構造・発達・機能のアセスメントができる(家族のセルフケア能力、家族の健康問題への対処能力のアセスメントを中心に)。
4. 家族介入モデルに基づいて、認知領域・情意領域・行動領域に対する介入方法を立案できる。
5. 家族看護学における看護者の責務や役割について表現することができる。
6. 家族看護学の発展性について考察し記述できる。

#### 【授業の概要】

家族看護学の発展の歴史を理解し、さまざまな視点から家族を捉え、家族のもつセルフケア能力を最大限に引き出す科学的な家族看護実践を行うための基礎的能力(知識・技術・態度)を習得する。演習においては、模擬家族のジェノグラム・エコマップ作成を通して基本スキルを習得し、カナダで開発されたカルガリー家族看護アセスメントモデルおよび介入モデルを用いて事例演習を行う。事例演習では、家族構造・機能・発達のアセスメントおよび家族機能の認知領域・感情領域・行動領域に対する介入計画を立案する。

家族看護の発展の歴史を理解し、さまざまな視点から家族を捉え、家族のもつセルフケア能力を最大限に引き出す科学的な家族看護実践を行うための基礎的能力(知識・技術・態度)を習得する。

#### 【授業内容】

1. 科目ガイダンス  
家族看護の概念と変遷：ワークを通して主要概念を理解する
2. 現在家族の特徴：家族形態・機能・家族観の変化による健康課題・問題：  
現代家族が抱える健康課題・問題の背景や実態について知識を整理する
3. 家族看護学における基礎理論、家族アセスメントモデルおよび介入モデル①  
家族看護学における主要な理論（家族システム理論・家族発達論・家族ストレス論等）
4. 家族看護学における基礎理論、家族アセスメントモデルおよび介入モデル②  
代表的なアセスメントおよび介入モデルであるカルガリー家族アセスメントモデル・介入モデルおよび家族同心球環境モデル等
5. ジェノグラム・エコマップ作成演習  
模擬家族のジェノグラム・エコマップ作成演習を通して基本スキルを習得する
6. 健康問題を持つ家族の事例演習 1 グループワーク 発表・フィードバック  
【初妊婦の妊娠に対する葛藤事例】模擬事例を用いてアセスメント・介入計画立案。事例演習での学びを発表し学生間の相互リフレクションおよび教員のフィードバックを行う
7. 健康問題を持つ家族の事例演習 2 グループワーク 発表・フィードバック  
【新しい家族員の誕生による役割混乱事例（ネグレクト・虐待が疑われる）】模擬家族を用いてアセスメント・介入計画立案。事例演習での学びを発表し学生間の相互リフレクションおよび教員のフィードバックを行う
8. 事例演習発表およびリフレクション

#### 【成績評価方法】

演習の参画度(20%)、課題レポート(30%)、最終レポート(50%)で評価する。

評価基準：講義・演習内容を踏まえ、エビデンスに基づいた科学的文献を適切に用いて課題を論じているか、基本的なレポートが書けているかについて評価する。講義・演習内における自主性・積極性・貢献度を評価する。

#### 【教科書】

- ・小林奈美著：家族看護論 カルガリー式家族看護モデル実践へのファーストステップ第2版 医歯薬出版 2011

#### 【参考書、教材等】

- ・森山美知子：ファミリーナーシングプラクティス：家族看護の理論と実践。医学書院、2001
- ・鈴木和子・渡辺裕子：家族看護の理論と実践 第3版 日本看護協会出版会 2006
- ・野嶋佐由美監修：家族看護理論に基づいた実践—家族看護エンパワメントモデル—へるす出版 2005
- ・法橋尚宏編：新しい家族看護学 理論・実践・研究 メジカルフレンド社 2010
- ・小林奈美：グループワークで学ぶ家族看護論第2版 医歯薬出版 2011

※ この授業は、4/7(木)が初回です。